

本記事は、浜理Newsletter 2020 Vol.14から再掲しております

今回は、以下論文をご紹介します。

非天然型アミノ酸の、より実用的な合成に向けて開発したリガンドに関するものです。

Development of Hamari Ligands for Practical Asymmetric Synthesis of Tailor-Made Amino Acids, *ACS Omega* **2019**, *4*, 18942–18947.

弊社は、非天然型アミノ酸を「用途に合わせて思い通りに合成する」という願いを込めて“Tailor-Made Amino Acids”と称し、非天然型アミノ酸を自由に合成できるようにリガンド開発に努めてまいりました。その中で、大学との共同研究により誕生したリガンド“Soloshonok-Hamari Ligand”は、過去にも実施例を報告しております。

Second-order asymmetric transformation and its application for the practical synthesis of α -amino acids, *Org. Biomol. Chem.* **2018**, *16*, 4968–4972.

Tandem alkylation–second-order asymmetric transformation protocol for the preparation of phenylalanine-type tailor-made α -amino acids, *ACS Omega*, **2018**, *3*, 9729–9737.

今回は、特に求核性グリシン等価体へのアルキル化の多様性について報告しております(図1.)。“Soloshonok-Hamari Ligand”は、種々の反応条件を用いて多種多様なアミノ酸を合成可能です。また、リガンド自体はアミノ酸との錯分解後、回収して別の反応系に再利用することが出来ます。更に、本報では2回のアルキル化を連続して行った例も報告しており、高純度・高選択的な結果が得られています(図2.)。

アミノ酸の有用性はペプチドに留まらず、医薬品開発等にも重要な役割を与えるものです。特殊なアミノ酸の合成には、ぜひ本法の活用をご検討ください。

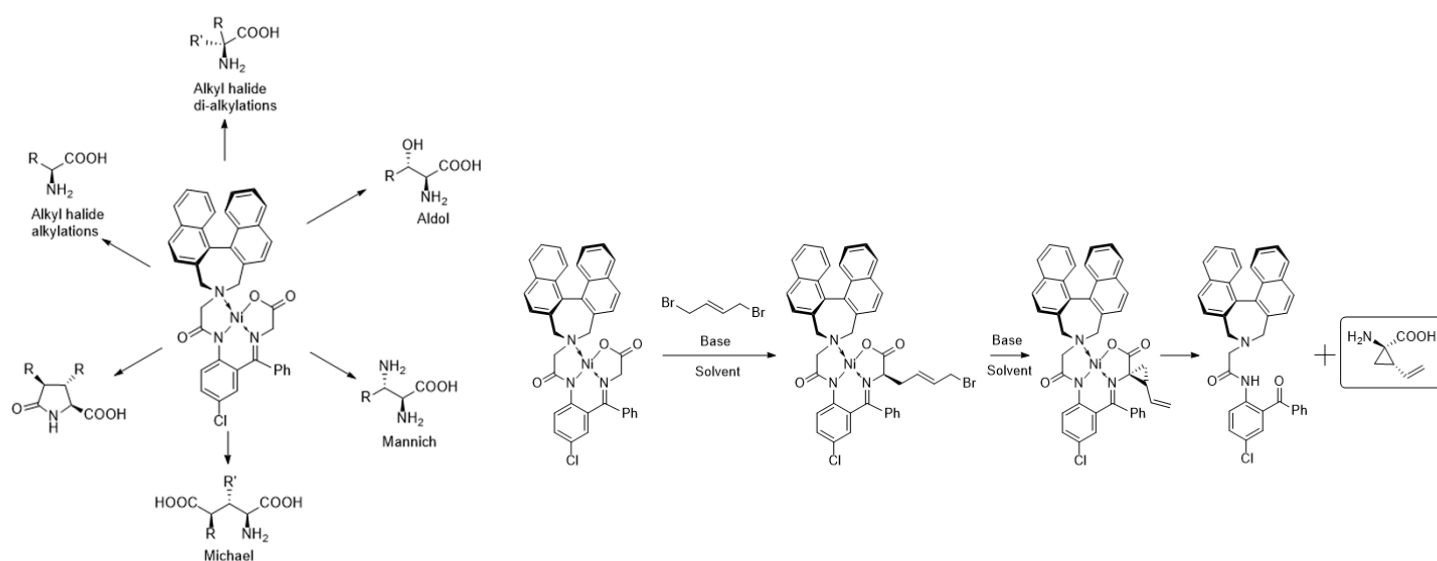


図1.

図2.

本件に関するお問い合わせは下記まで



浜理薬品工業株式会社

営業開発部

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-1-26 北浜松岡ビル6F

TEL 06-6205-7227 FAX 06-6205-7222

E-Mail : toiwase@hamari.co.jp